



小学生が老人クラブ会員と交流
 ■11月2日、恒例の交流会が別府小学校で行われ、同校4年生が校区の老人クラブの会員とグラウンドゴルフや給食試食会で交流を深めました。



第46回枕崎市総合文化祭
 ■10月27日から11月8日の期間で開催されました。11月3日は市民会館で芸能祭が行われ、多くの市民が歌や踊りなど日頃の練習の成果を発表しました。



子育て支援チャリティーバザー
 ■11月11日、森産婦人科で「未来の子どもたちへ語り継いでいきたいこと」をテーマに開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。



シルバー人材センター交通安全講習会
 ■11月7日、南海自動車学校で行われ、会員21人が参加しました。自動車学校職員の指導のもと、事故実験や運転実技を行い、交通安全の再確認をしました。



絵本の力がわが子を伸ばす
 ～ブックドクターあきひろ氏による「読あそび」と読書講演

今年8月に設立された「NPO法人読書推進団体枕崎みしのたくか」と(朝田栄子代表)主催の読書イベントが11月1日、長野幼稚園で行われました。当日は園児や保護者、一般参加者など約100人がブックドクターあきひろ氏が提唱する「読あそび」を楽しみました。朝田代表は「よりよい読書環境をつくるための活動を、これからも推進していきたいです」と話していました。



別府中学校



立神中学校

枕崎愛を歌や劇で表現
 ～市内中学校で文化祭

11月2日、市内中学校で文化祭が行われました。別府中学校では、東京で活躍する同校出身の同級生デュオ「nutmeg(ナツメグ)」のライブがあり、枕崎を想い作った曲「ふるさと～枕崎」など数曲を披露。在校生に「母校でこのように歌えることは何よりも嬉しい。みんなも夢に向かって頑張してほしい」と話していました。立神中学校では、江戸時代にかつお節製法を枕崎に伝えた紀州(現在の和歌山県印南町)の森弥兵衛をテーマにした創作劇「^{かつおみち}鯉道」を1年1組の生徒が熱演しました。



①



③



②

①ポケットパークに並べられたペットボトル灯籠と竹灯籠 ②市役所駐車場がマルシェに ③高校生によるストリートファッションショー

火の神乙女太鼓爽 県大会3連覇
 ～第15回日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会

日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会が11月18日、霧島市で開催され、火の神乙女太鼓爽が3連覇を達成し、来年3月に行われる全国大会への出場を決めました。リーダーの平田裕貴くん(枕崎高3年)は「私にとってはこのチームで最後の全国大会。結果に関係なく今までにない最高の演奏ができるよう、しっかり準備をして臨みます」と話していました。



カツオ博士目指し63人が挑戦
 ～第2回枕崎カツオマイスター検定

カツオやかつお節についての正しい知識を身につけ、カツオの伝道師となってもらうことを目的にした第2回枕崎カツオマイスター検定が11月3日から2日間にわたり行われ、全国から63人が受検しました。受検者は、かつお節工場の見学やカツオの三枚おろしなどに挑戦したほか、座学ではカツオの生体や漁法についてなど幅広く学び検定に臨みました。